

3/18 フィールドワークコース紹介

神戸は1868（明治元）年、外国に対して港を開き、開港150周年を迎える。この外国人たちが消費する食肉を確保するため、居留地に屠場が作られるが、人家の近くにあることが問題視され、屠場は生田川東側に移転され、被差別部落の人々も移住し、そこが被差別部落とみなされるようになった。



1909（明治42）年、この地区にあった屠場が廃止されると、住民の就業機会が大幅に低下し、貧困化が進む。このスラム化に対して積極的に関わったのが、賀川豊彦。賀川の活動は、生活協同組合運動や労働運動として実を結ぶ。

【専称寺】

1922年11月、兵庫県内最初の水平社創立の地。岸本順作、前田平一という水平運動のリーダーを輩出している。



障がいの有無に関係なく、住み慣れた地域で暮らし続けるための拠点、自立と共生のよりどころとして、様々な事業を展開している。1階はパン工場、2階はデイケアセンター、3階は利用者たちのくつろぎの場、4階は本部事務所で相談事業も行っている。

縦にスーッと伸びる建物には「永遠に腐らぬえんぴつの芯、その芯が折れないよう、白い木で包み支える」という意味が込められている。

FAX等で申し込む際にお使いください。

3月18日フィールドワーク申込書

(ふりがな) お名前	
ご住所	
電話番号	(日中連絡がとれる番号をお書きください)